

## 現場に走る！！

### 6月29日、高山線土砂崩れ現場を見て

先月、6月29日の大雨の影響で、高山線の線路脇の斜面が崩れ、飛騨萩原駅と飛騨小坂駅間が不通になる事態が発生しました。

新聞によると、「現場は約60メートルにわたり土砂や倒木が線路をおおい高さは2メートルに及ぶ」と報道されていました。結果特急「ひだ」は下呂で折り返し運転、飛騨萩原～飛騨小坂間はバス代行（7月6日時点）で運行されていました。

JR東海は、当初復旧には相当時間がかかると発表していましたが、30日から始まった復旧作業は、ここ数日間の大雨で進んではいません。

#### 役員が現地へ

今月、7月3日私たち東海労名古屋地本は、今後の対策を労働組合の側から考えるべく現場に向かいました。現場は倒木が積み重なり想像以上の惨状でした。

当初作業も進んでおり1週間をメドに開通するような事も言われていましたが、台風7号と梅雨前線の影響で、6日から続く大雨のため作業は進んでいません。

私たち東海労は、原因の究明と安全対策のため論議を深めていきます。

**会社は危険な箇所を早急に洗い出し、最近の異常気象に備えよ！**

